

## 8月に向けて

代表取締役 三田雅憲

2008年より発行してきました社報を、次回号の9月の205号よりA3で4Pに増やし、特にサイネージ広告の中などの社員皆様に周知してもらいたい内容また、現在営業からだけのトピックを工場からのトピックも同時に乗せて、社員の声を届けていきたいと思います。また、仕上げた現地の写真やクレームまた、お客様からの喜びの声なども紙ベースで発信していきたいと考えています。担当者にはご苦勞をおかけしますが、よろしくお願いします。

先月7月16日に枚方信用金庫さん主催の「ひらしん若手経営者の会」の経営セミナーにおいて元法政大学教授で「人を大切にする経営学会会長」の坂本先生の一文を、今月はご紹介いたします。

**「企業が大切にすべき人とは5人(5者)である。まず1番 社員とその家族、2番 仕入れ先や協力会社、3番 現在のお客様と未来(新規)のお客様、4番 地域・コミュニティ、5番 出資者、支援機関である。」**

と先生は述べられています。今、日本の大手企業はどちらかと言えば5番目の出資者が1番目にきており、この並びと基本的な順番が逆になっているような気がします。今の順番は企業つまり経営者である私が心しないといけないのですが、社員としては、1番は現在のお客様と未来(新規)のお客様で、2番が「仲間」だそうです。私的には、社員は先ず「家族」が来ると思うのですが、やはり皆さんにとっては仕事という視点からそうなるのかもしれませんが。会社には仕事をしに来ていただいているので、お客様に鼻息をして頂きませんと信用もつきませんし、当然お金も入ってきませんので、先生がおっしゃることは理解できますが、縁があってこの会社で仕事をするからには、立派な社会人として又、立派な職業人としてももちろんのこと他のコミュニティでも通用する力をつけてほしいと思います。その為には若いうちに経験や知見そして続書を重ねて欲しいと思います。

9月には小さいですがライブラリーを千葉にも設置します。また、書籍、補助も9月よりスタートします。(詳細はおって公示します)それで十分ではないと考えていますが、少しでも社員皆様が今以上にこの仕事に関して興味を持ち頑張ってもらいたいと思っています。

また、7月に千葉白井工場では大手エレベーターメーカーのH社との取引契約が進んでおります。また、その他の新規の企業様との取引も少しずつ増えております。当社にやっとの思いで行き着いてくださった会社さんばかりです。新しいお客様との取引は、品質をはじめ難しい面も増えてきますが、百戦錬磨することで(今のサッカーやバスケットボールの選手と同じで)成長していきます。ベテランの社員は、今後も若手のサポートをしっかりしてもらい(自分の武勇伝等は不要ですので)自分たちが先代より学んできた技術や知見をしっかり伝えてほしいと思います。

今年は特に暑さが厳しい夏になっておりますが、お盆まで乗り切りまた、お盆からしっかりとスタートを切れるように頑張ってもらいたいと思います。最後に、営業部のYさんが7月末で卒業されました。仕事に関していつも一生懸命でお客様にも大変好かれておりました。私としては選択された道で本当に頑張ってもらいたく思っております。短い間でしたが本当にご苦勞様でした。